単元名：

「私たちの生活とお米」

(全10時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年10月19日(火) 第2校時

授業学級 5年1組

授業会場 5年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(〇〇の子ども達が) 〇〇の場面で、〇〇を通して、〇〇をすることができる/できるようになる。

家で食べているお米の産地・銘柄を調べてきた子どもたちが、①遠い所で作られたお米を食べている理由を考える場面で、実際にスーパーで売られているお米や産地について知り、そのことについて考える活動を通して、なぜスーパーで売っているお米に他県のものが多いのか・身近なお米がどこへ行っているのかの理由について疑問を持つ

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 導入		*事前に用意したスライドを用いる 田畑の写真見せる(付属小の裏手の航空写真)『スライド1』 ここで何が作られているか知ってる? →廊下に出て実際にしてみる	0
	2. 普段の生活圏に田んぼがあることを地図から知る	<ul style="list-style-type: none"> ・米! ・野菜! ・今の時期は何にもないよ ・この前稲刈りしてた 	<p>そうだね、野菜とか果物とか、長野ならリンゴも多いよね。後はお米とか。先生が普段行く野球場の近くもこの前稲刈りしてたよ。どうだろう、意外と広いかな?</p> <p>ところで、田んぼからお米ってどのくらいとれるんだろうね</p> <p>*田んぼ一単位あたり米がどのくらいとれるのかの図『スライド2~3』 「1アールあたり531kg」</p> <p>田畑の写真へ戻る</p> <p>この近くだけで170000kgものお米が1年間で作られている</p> <p>「こんなにたくさんのお米ってどこに行っただろうか?」</p>	10
	【学習課題】長野県で取れたお米はどこへ行くのだろうか、また、普段食べているお米はどこから来るのだろうか			

展開	3. 課題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリ食べてる ・新潟とかたくさんお米がとれるところから来てるんじゃないかな ・私の家はあきたこまちだった ・私の家は長野県のお米食べてるよ ・意外と長野県のお米多いね ・パンのほうが好き 	<p>事前課題の確認へ。</p> <p>「みんなが食べてるお米ってどこから来てるのだろう」</p> <p>*課題のデータをまとめたもの『スライド4』を提示</p> <p>「新潟産とか山形産とかが多いことが分かる」</p> <p>広告のスライドへ『スライド5～6』</p> <p>「長野県のスーパーマーケット、ツルヤとか西友なんだけど、全国のお米が売っているんだよね」</p> <p>「ちなみに先生のお米は新潟県産のコシヒカリなんだよね」</p>	15
	4. 疑問の提示		<p>「長野県（すぐそこ）でたくさんお米がとれているのに、なんで？」『スライド7～9』</p> <p>①みんなが遠いところで作られたお米を食べているのはなんでだろう？</p> <p>地産地消→P120</p> <p>②輸送費とかもかかる筈なのに安いのはなんでだろう？</p> <p>③じゃあ長野の（近く）で取れたお米はどこへ行ったんだろう？</p>	25
	5. 疑問についての意見提示	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟とか山形は稲作が有名だよ ・そっちのほうが美味しいんじゃない？ ・そっちの方が安い →②へ ・量がたくさんとれるのかも ・色々なところでお米作っているんじゃない？ ・長野のお米は高級なんだよ →お米の高級って何が違うんだろう？珍しいお米なのかな？ <p>ここで出た意見や疑問を黒板にまとめる→これを次回以降調べたり学んだりしていく</p> <p>例) 新潟とか有名だよ→なんで有名なんだろう</p> <p>量がたくさんとれる→たくさんとれる工夫とかがあるのかな</p> <p>長野の近くの米は特殊なお米じゃない→何か種類とか特徴があるのかな</p>	35	
終末	6. 振り返り	お米について新しく知ったことやこれから知りたいことを書いてみよう。	40	

【本時の評価（評価する対象）】

普段食べているお米がどこから来たのか、長野県で作られた米がどこへ行くのかを切り口に、私たちにとって身近なお米について考えることができる